

〈自主的努力項目記入書式〉

提携先	J Aたきかわ とんぼの会	記入日	2010/10/24
登録消費材名	無洗米 北海道江部乙米		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

とんぼの会は、平成21年度26名の生産者が約204haの圃場で生産したお米を生活クラブ消費者に供給致しました。

昨年度の自主基準見直しによる農薬成分回数5回以内での栽培に努めて参りましたが、「いもち病」の発生に伴い、一部圃場においては生活クラブと協議の上、殺菌剤を使用し供給量の確保に努めました。また、病害虫防除を始めとする各種協議を行うため、北海道単協と「農法部会」を立上げ、速やかな対応を図るべく情報の提供並びに協議を行いました。

農業経営面においては、生産コスト削減が限界にきており、再生産が可能な価格の回復を望むところです。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年より引き続き「非ネオニコチノイド」系農薬を最低1回取り入れた栽培を推奨し、取り進めを行いました。

また、消費者との交流事業も継続実施し、田植えから稲刈りまで、多くの消費者に米づくりの体験をしてもらい、自分たちが食べ続けていく消費材がどのように栽培されているかを感じ取って頂けたと思われます。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

消費者との交流を軸に、顔の見える消費材の生産・供給に努めて参りたい。

また、22年度より一部の会員で「飼料用米」の栽培を行っており、今後耕畜連携を見据えた展開を図って参りたい。